

平成31（令和元）年度 事業報告書

〔平成31年4月 1日から
令和 2年3月31日まで〕

1. 事業の概要

本県果樹農業の活性化を図るため、果実の生産販売拡大対策等の諸対策を講じ、需給の安定的拡大と果樹農業者の経営安定を目的として、果実等生産消費推進対策を図るための果実生産販売拡大対策事業、並びに果実緊急価格安定対策事業について、各事業費補助金の交付を行った。

優良品目・品種への転換を支援するため、平成23年度より国庫補助事業で、果樹経営支援対策事業・果樹未収益期間支援事業の取組を開始した。

また、果樹農業の発展に資するため、平成12年度第2回より全国果樹技術・経営コンクールに出品し、毎年優秀な成績を収めている。

（1）果実生産販売拡大対策事業

本県果実の生産販売拡大の諸対策を講じ、果樹の活性化を図るため、会員農協からの負担金による交付準備金を造成し、次の事業を実施した。

①交付準備金の造成

果実生産販売拡大対策事業の実施に要する交付準備金を次のとおり造成した。

（1）宣伝負担金

（単位：円）

区分 対象果実		交付準備金 造成額	負担内訳	備考
なし	計画	10,250,000	農協会員 (5会員)	当該年度(1月～12月 が対象)の全農取扱数 量(国内、海外含む) に進物取扱数量(会員 農協より自己申告数 量)を加えた数量に、 なし1.3円/kg、かき 2.5円/kg、ぶどう1.5 円/kgを乗じた額を基 準とする。
	実績	11,482,446		
かき	計画	2,360,000	農協会員 (3会員)	
	実績	2,776,708		
ぶどう	計画	400,000	農協会員 (2会員)	
	実績	468,716		
合計	計画	13,010,000		
	実績	14,727,870		

②基金交付

果実の生産と消費の拡大を図るため、全農とっとり等が実施した次の事業に対して基金 14, 126, 688 円を交付した。

(単位：円)

事業項目	事業主体	対象果実	事業の内容	総事業費	基金交付額		
国内消費拡大対策事業	全農とっとり	なし 二十世紀	宣伝広告(テレビ・ラジオCM、パブリシティ用果実)	1, 053, 120	637, 120		
		なし 二十世紀 新品種	宣伝資材(ポスター、ミニのぼり、ポケットティッシュ等)	1, 447, 200	797, 200		
		〃	宣伝会(試食用果実、宣伝活動キャンペーン)	3, 963, 312	3, 188, 312		
		なし計		6, 463, 632	4, 622, 632		
		かき 西条	宣伝広告(ラジオ宣伝、パブリシティ用果実)	502, 600	452, 600		
		〃	宣伝資材 (ポスター、ミニのぼり等)	1, 302, 300	912, 300		
		〃	宣伝会(試食用果実、宣伝活動キャンペーン)	630, 700	470, 700		
		かき計		2, 435, 600	1, 835, 600		
		ぶどう	宣伝広告(ラジオ宣伝、パブリシティ用果実)	143, 276	113, 276		
		〃	宣伝資材(ポスター、ミニのぼり)	407, 160	357, 160		
		〃	宣伝会(試食用果実、宣伝活動キャンペーン)	76, 174	51, 174		
		ぶどう計		626, 610	521, 610		
		合計				9, 525, 842	6, 979, 842
		補てん事業 国内出荷価格	全農 とっとり	なし	国内市場調整並びに市場開拓のため、関東市場へ出荷する場合の販売価格差額を補てんする経費(※H31は関東市場市況が他市場に比べ堅調であった為、発動せず)	0	0
合計				0	0		
国内合計				9, 525, 842	6, 979, 842		

(単位：円)

事業項目	事業主体	対象果実	事業の内容	総事業費	基金交付額
対策事業 輸出振興	全農 とっとり	二十世紀、 新品種、愛 宕梨等	アジア地域（台湾、香港）での 宣伝販売活動	7,470,241	3,619,950
	日園連	二十世紀	米国における宣伝販売活動	2,067,500	2,067,500
合計				9,537,741	5,687,450
輸出促進強化 対策事業	日青協※	二十世紀	輸出検疫官招へい事業	13,832	13,832
	全農 とっとり	二十世紀 あたご梨 他	残留農薬検査事業	953,000	677,500
		二十世紀	対米輸出奨励金	697,840	697,840
		富有	貯蔵奨励金	70,224	70,224
合計				1,734,896	1,459,396
輸出計				11,272,637	7,146,846
総合計				20,798,479	14,126,688

※日青協……日本青果物輸出促進協議会

(2) 果実緊急価格安定対策事業

本県産果実の需給調整を図るため、会員農協等からの負担金並びに県補助金による交付準備金を造成して次の事業を実施した。

①交付準備金の造成

果実緊急価格安定対策事業の実施に要する交付準備金を次の通り造成した。

(単位：円)

	交付準備金 造成額	負担内訳	備 考
計画	14,697,917	農協会員 (5 会員)	当該年度(1月～12月が対象)の全農取扱数量 (国内、海外含む)に進物取扱数量(会員農協自 己申告数量)を加えた数量×なし 0.80062278 円/kg を基準とし造成した
実績	7,071,623		
計画	14,697,916	鳥取県補助金	果実緊急価格安定対策事業費補助金
実績	6,597,578		
計画	604,167	農協会員 (5 会員)	平成 30 年度よりの 特別交付準備金繰越額
実績	604,167		
計画	30,000,000		(うち、30 年度造成額 604,167 円)
実績	14,273,368		

②特別交付準備金の造成

当事業負担金取扱要領に基づき、平成 31 年度実績が「358 円/kg」と、主要品種(二十世紀梨)目標販売単価 290 円を達成したことから、特別交付準備金を積み立てた。会員負担額は次のとおり設定した。

対象会員名	対象数量, /kg	負担金額/円	備考
鳥取いなば農業協同組合	2,305,938.0	131,938	
鳥取中央農業協同組合	5,867,122.3	435,025	
鳥取西部農業協同組合	1,971,072.1	131,258	
河原果実農業協同組合	19,100.0	1,529	
倉吉市果実農業協同組合	92,582.8	7,412	
(合計)	10,255,815.2	707,162	

③基金交付

果実の需給調整を図るため、需給調整委員会で決定した次の事業に補助金を交付した。

(単位：円)

事業種目	対象果実	事業内容	総事業費	基金交付額
果実緊急価格安定対策事業	なし	国内出荷運賃補てん事業 国内出荷調整並びに契約的販売の推進を目的として関東市場および九州市場へ出荷する場合の運賃を補てんする経費。 ①実施計画承認：7月26日 ②対象品目：梨全品種 ③対象期間：初出荷より販売終了まで ④対象数量：48,160箱/10kg	9,479,257	9,479,257
		国内出荷調整保管事業 需給調整と卸売市場価格安定の為、市場以外の低温貯蔵庫等に調整保管する場合の貯蔵保管経費及び販売差額の補てん。 ①発動日：7月26日 ②対象品目：二十世紀、秋栄、豊水他 ③対象期間：初出荷より販売終了まで ④対象数量：12,918箱/10kg	3,850,291	3,850,291
		海外出荷調整保管事業 海外輸出向として低温貯蔵庫等に調整保管した貯蔵保管経費。 ①実施計画承認：7月26日 ②対象品目：梨全品種 ③対象期間：初出荷より販売終了まで ④対象数量：11,904箱/10kg	894,974	894,974
		価格安定対策事業 海外輸出における植物検疫上の障害等により生じた費用。 ①実施計画承認：7月26日 ②対象品目：梨全品種 ③対象期間：初出荷より販売終了まで ④対象数量：218箱/10kg	48,846	48,846
		合計	14,273,368	14,273,368

④過徴収金の扱い

当事業の負担金徴収・補助金支払完了後、事業実績に誤りが発覚し、徴収した負担金に剰余額が発生した。このため、同額を令和2年度の同事業会員負担金より下記のとおり減額することとした。

	いなば農協	中央農協	西部農協	河原果実	倉吉市果実	合計
余剰額	1,563	5,159	1,556	18	89	8,385

(3) 果樹経営支援対策事業・果樹未収益期間支援事業

優良品目・品種への転換、園地整備、労働力の確保など前向きな取組を行う担い手や産地を支援し、優良品目・品種への改植に対しては、改植後の未収益期間を支援する事業であり、31年度は2産地協議会からの申請により実施した。

事業の実施状況

(単位：円)

事業内容	計画申請			実績報告 (請求)		
	園地	事業費	国交付金申請額	園地	事業費	国交付金受給額
優良品目・品種への転換 (改植)	5	1,958,050	1,856,050	4	2,068,770	2,068,770
中央果実協会特認事業 (新植)	7	8,994,110	4,313,724	1	1,870,773	846,200
廃園	-	-	-	1	256,662	128,331
排水路の整備	-	-	-	1	928,800	464,400
用水・かん水施設の整備	10	12,721,491	6,224,794	9	11,713,316	5,529,411
果樹未収益期間支援事業	12	4,308,040	4,251,280	5	2,170,960	2,170,960
合計	34	27,981,691	16,645,848	21	19,009,281	11,208,072

※計画の一部は令和2年度の実績申請へ繰り越された。また、30年度計画の一部が31年度実施として繰り越されている。

(4) 全国果樹技術・経営コンクール

本県果樹農業の発展に資するため、先進的な果樹農業者の技術・経営改善に関する啓発や士気・意欲を喚起する取組として、『全国果樹技術・経営コンクール』への出品財を募集したが、本年度は応募者の確保ができず、参加を見送った。

(5) 特別事業費の受入 (都道府県推進事務費、果樹経営支援事業推進事務費)

果実の需要の拡大、安定的な生産出荷の推進、需給調整等の事業の円滑な推進を図るために必要な運営事務費として、中央果実協会より計 1,137,737 円を受け入れた。